

# 多文化共生ってなあに？

多文化共生は  
様々な人々がお互いに  
認め合い、誰もが安心して  
暮らし活躍できることをいうんだよ！

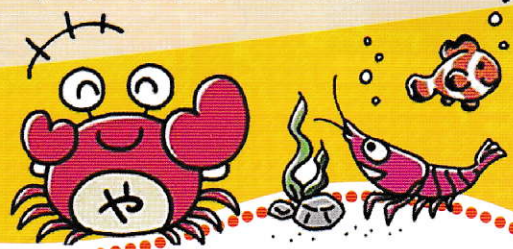


やさしい日本語イメージキャラクター  
「やさかにくん」

東京都には **約65万人** (うち八王子市には約1万6千人) の  
外国人が暮らしています。(令和6年1月1日現在)

同じ住民として、地域で気持ちよく暮らしたい思いは一緒です。  
多文化共生の考えを持って一緒に活動してみませんか？  
多様な文化を活かしたイベントを開催したり、  
外国人の方と共に防災まちづくりをしませんか？

## どうやって？



## やさしい日本語 で声をかけてみよう

「やさしい日本語」とは・・・

外国人などいろいろな人にわかりやすいよう簡単にした日本語のこと

【例】 土足禁止 ⇒ くつをぬいでください

可燃ごみ ⇒ もやすことができるゴミ

やさしい日本語に正解はありません。

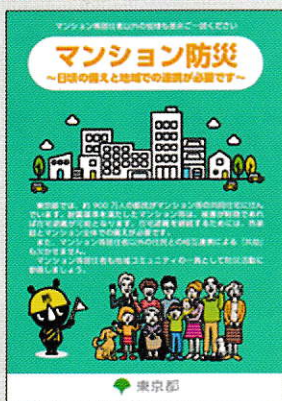
大切なことは相手にとってわかりやすいことです。

# 地域みんなで 災害に備えましょう

いつかやってくる“その時”のための準備を!

災害時には自分の身は自分で守る「**自助**」とあわせ、  
町会・自治会や防災会などの地域コミュニティによる  
「**共助**」も重要です。

## 東京都のマンション防災の推進



わかりやすい動画や  
英語版もあります。



## 自助の取り組み

- 日常備蓄（普段使っているものを常に少し多めに備えましょう）
- 家具の類の転倒、落下、移動防止（家具の固定や配置の工夫）
- 携帯トイレ、簡易トイレの準備
- 家族同士での安否確認の方法や集合場所などの確認

## 共助の取り組み

- 地域の防災訓練への参加
- 防災市民組織への積極的な参画
- 近所の助け合いや日頃から顔の見える関係づくりなど



## 外国人とも助け合うまちづくりを!

言葉・文化の違いなどから、  
災害への備えや災害時に  
取るべき行動がわからない  
方がたくさんいます。

### 声をかけてみよう!!

お互いの顔の見える関係になれば、いざというときも必要な情報を話すことができます。まずはやさしい日本語で声をかけてみませんか。

### 一緒に活動してみよう!!

外国人が参加できる防災訓練を行うことで、いざという時に地域が一体になって助け合うことができます。